

人が「しあわせ」になれる方法

こころの ぽけっと

近頃、テレビはなぜかクイズ番組が多くなってきていると思うのは、私だけででしょうか。そこで私もクイズに挑戦です。

西洋の古いことわざで、「人は〇〇の数だけ幸せになれる」こんなクイズを見つけました。〇〇の中に入る漢字2文字の言葉は何でしょうか？というものです。

ヒント① 多くの方が、今までの人生の中で何度もやっています。

ヒント② ひとりでは、出来ません。

ヒント③ 誰かと楽しく会っている時や「祝い事」の時、これをします。

まだ分からないですか…大ヒントです。

居酒屋でよく聞かれます…。

もう分かったでしょう。答えは「乾杯」です。確かにある時は友人と、仕事仲間と、そして愛する人と乾杯をしますね。またある時は、知らない同士であってもこの「乾杯」で瞬時に仲良くなる方法でもあります。「乾杯」には他人同士を「仲間」にしてしまう、不思議な力があるんです。したがって、この「乾杯」の文化は言い方は違っても、世界中にあるということがお分かりいただけると思います。

でも、近頃、新型コロナウイルス感染症とやらのため、この「乾杯」の機会が激減してしまいました。

また「新しい生活様式」とやらが定着すると、人と人が「面と向かって話し合う事」が悪であるかのような印象の社会になっていくような気がして心配です。それでは決して「幸せ」にはなれないのではないのでしょうか。でも、今のところ、新型コロナウイルス感染症にならないように、しばらくは「幸せ」にならない生活に努力するしかありません。思い切り「乾杯」をして「幸せ」がつかめる日まで、皆で努力していくことにしましょう。

この「幸せになれる方法」が私の最後の「こころのぽけっと」です。これまで読んでいただいた方に、心からのお礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和2年9月8日 飯舘村長 菅野 典雄

地域おこし協力隊 いいたてDIARY ダイアリー

8月16日に開催したイベント「山の向こうから」には、予想を超える沢山の方に来ていただきました。

村内からも、いつもお世話になっている方々を始め、沢山の方に「遊びに来たよー」と声を掛けていただき、改めて村に来て良かったと感じる事ができた1日となりました。

今回は11月1日を予定しております。前回よりも店舗数が増え、「一同に集結するなんて信じられない((((;°Д°))))!!」と思ってしまう出展者様ばかりです。

こんな時だからこそ楽しんでいただきたいと、感染症対策も含め、毎日心を込めて準備しております。

来場していただく皆様の、コロナに対する意識や対策が、開催につながると思っております。来場時のマスク着用、検温、感染経路特定用紙の記入に、ご協力をお願いいたします。



山の向こうから音が聞こえる。
あれは、鼓を打つ音。
木を削る音。
山の向こうに光が見える。
あれは軒から漏れる光。
ろうそくの灯火。
その光と音に、モノつくる者たちが集まってくる。
私たちの肉の手は何かを作るためにある。
モノから、私たちの暮らしが生まれる。



今月のライター

飯舘村地域おこし協力隊
二瓶 麻美さん
モノづくりの魅力が
ぎゅっとつまったイベン
ト「山の向こうから」。
今回は11月1日、やす
らぎ工房（旧草野幼稚園
園）前庭で開催の予定。



佐野志帆さんの

ラオス通信。

vol.2

ラオスのファッション

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？佐野さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ！

佐野さんは兵庫県の出身。青年海外協力隊として現地で活動した経験をもとに、佐野さんが見て触れて感じたラオスを教えていただきます。



民族衣装「シン」と「スア」。肩に
かける布「パービアン」は正装時に



毎週月曜日、教員は制服を着用。子どもは男女関係なく赤や青のリボンを

みなさんはラオスの伝統服をご存じでしょうか。ラオスの女性が日常的に身に着けているのが、「シン」と呼ばれる巻きスカートです。シンの素材は主に綿かシルクで、家や職場での普段着としてはもちろん、学校や企業の制服、結婚式などの式典で正装としても着用します。初めてシンを見たときは、窮屈そうに見えたのですが、実際に着てみると、あぐらをかがいたり自転車にも乗れるくらい動きやすく、すぐに気に入りました。

シンの柄（織り方）は、地方や民族によって異なるため、旅先で地方の特色がある布を買うことも楽しみの一つ。私の活動していた南部サワンナケートでは、藍染を用いた幾何学的な文様が親しまれており、もつと南に行くときビーズを織り込んだものもあります。シンを買うときは市場の仕立て屋さんに行つて布を選び、自分の体に合わせて縫ってもらいます。セミオーダーにもかかわらず、安いもので一枚千円からと比較的安価で手に入れることができるため、気づけば月に二回のペースでクローゼットのシンが増えていきました。新しいシンを職場に履いて行くと、女性陣が「新しいシン？」「綺麗だね」と声をかけてくれて、とても嬉しかったです。

最近では、外国人や旅行者向けに、シンの柄でスリットが入ったタイトスカートなども売られているので、みなさんもぜひお気に入りの一枚を見つけてみてください。

今回は
ラオスの結婚式
を紹介します！

ひとのうごき

（令和2年8月31日現在）

人口	今月（前月比）
男	2652人（-5）
女	2658人（-10）
計	5310人（-15）
世帯数	1840戸（+4）

8月1日～31日までの

◆人口動態◆

転入	4人
転出	17人
出生	2人
死亡	4人
（住民基本台帳人口）	

（8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載）

※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
高橋 トヨ	95	前田・八和木
佐藤 ヤイ子	79	前田・八和木
高橋 利彦	86	小宮
黒須 卓郎	85	二枚橋・須萱

ご冥福をお祈り申し上げます

ほっと NEWS 花だよりが 届きました



いいたてオリンピア
も村内各所で



前田行政区 住民が協力して



大久保・外内行政区 一面の花畑